

第2学年国語科学習指導案

日 時：令和4年11月24日 公開授業2
対象学級：2年1組 36名
指 導 者：前 川 真生子

1 単元名

せつめいのしかたに気を付けて読み，それをいかして書こう

教材名 「馬のおもちゃの作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」（光村図書 2年下）

2 内容のまとめ

第1学年及び第2学年

1 [知識及び技能] (2) ア

2 [思考力，判断力，表現力等] B 書くこと (1) イ， C 読むこと (1) ア

3 単元の目標

(1) 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

[知識，技能] (2) ア

(2) 自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

[思考力，判断力，表現力等] B (1) イ

(3) 事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えることができる。

[思考力，判断力，表現力等] C (1) ア

(4) 言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力，人間性等]

4 単元について

(1) 児童について

ア 児童はこれまでに，第1学年の説明文「くちばし」の学習で，絵と写真を対応させて読むことを経験している。第2学年の「たんぼぼのちえ」では，時間の順序や理由を表す言葉に着目し，順序に気を付けながら文章を読む学習をした。「どうぶつ園のじゅうい」では，時間的な順序や事柄の順序に気を付けて読み，読んで分かったことを感想にまとめる学習をした。また，「はじめ・中・おわり」の構成を意識させたり，文末表現に着目させたりしてきた。

イ 「たんぼぼのちえ」では，ICTを利用して，タブレットに送られた本文に線を引いたり○で囲んだりという活動を行ってきた。また，小単元教材では，言葉集めなどにICTを活用した経験がある。

ウ これまでの学習により，説明的な文章での順序や事柄などを考えながら内容の大体をつかんだり，事柄の順序に気を付け，文章構成にも気付いたりできるようになってきている。

(2) 教材について

ア 本教材は，身近にある材料を使い，実際に説明書を見ながら馬のおもちゃを作ることで，筆者の説明に目を向けることができる。叙述及び写真から，多くの情報を受け取りながら内容を理解することもできる。また，作業を伴いながら読むことで，何度でも文章にフィードバックして読むことができる。読み取った説明の工夫を使い「おもちゃの説明書」を書く活動につなげていくことができる。

イ 本単元では，順序を表す言葉や写真・絵を手がかりに説明書を読み，手順を示す文章の書き方を学ぶ。そこでの説明の工夫を使って実際に「おもちゃの作り方」を説明する文章を書くことで，学習内容を定着させる。

(3) 指導について

ア 本単元における言語活動の特徴等

「一年生におもちゃの作り方をプレゼントしよう」という言語活動を設定する。本単元では，説明文を読んで説明の仕方を捉え，その学習を生かして，実際に説明文を書く。説明文を書くうえで特に重要なのが，順序が分かるように書くことである。順序が伝わるように書くことができているかを確認させ，順序が伝わる説明の工夫を定着させたい。

イ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等

「主体的な学び」を実現するために，第一次では，1年生に作ってもらいたいおもちゃを作り，その説明書を書いてプレゼントするという単元のゴールをイメージできるようにする。その際，「自分の書いた

説明文を読んだ1年生がおもちゃを完成させることができるようにするには、どうすればいいのだろう」という課題意識をもたせたい。

「対話的な学び」を実現するために、まず、「馬のおもちゃ」の〈作り方〉の説明の工夫を見つける活動を行う。ロイロノートに送られた教科書の本文に、何度も読み返したところ、作り方の順序が分かった言葉、写真を見て説明しているところなどに線を引かせる。線を引いたところを発表し合いながら新たな視点に気づき、もっと詳しく読んで解決したいという意欲を高めさせたい。その後、手順に沿って「馬のおもちゃ」を作っていく。

「深い学び」を実現するために、説明の工夫を見つけやすいように説明がわかりにくいモデル文を提示して比較させる。写真の有用性を認識させた後、6枚の写真の順序を考え、説明カードと組み合わせる活動を通して、「順序を表す言葉を使う」、「絵や文を合わせる」、次に〈前書き〉、〈ざいりょうとどうぐ〉、〈楽しみ方〉があってよかったことを話し合わせ、なぜこれらの項目があるのか一つ一つ確認していく活動を通して、理解を深めていきたい。最後に、これまでの学習で見つけた分かりやすい説明の工夫を整理していく。

第三次では、二次で読み取ったことを生かして説明書を作る。まず、学習の見通しをもつために、説明書の見本として教科書に載っている「けん玉の作り方」を読み、分かりやすい説明の工夫が使われていることを確認する。次に、説明書を作る実物を置きながら書かせることで、手順をイメージしやすくする。また、手順を意識させるために、一つ一つの作業をタブレットで写真を撮らせる。その中から説明に必要なものを選び、順序良く並べて繋げるという活動をし、写真と説明書で同じおもちゃを作った児童どうしで発表会をする。友達におもちゃを作ってもらうことで、自分の書き方の善し悪しを振り返らせる。

ウ 研究の手立てとのかかわり

電子黒板にデジタル教科書を投影したりタブレットに資料を配付したりすることで、視覚化・焦点化を図る。また、ロイロノートを活用し、おもちゃの作り方の発表に必要な写真を撮って保存したり、それを繋げて資料とし、発表の時に活用をはかったりしたい。また、それを友達と共有し、説明したり、比較検討したりすることで、単元の目標を達成するための手立てとしたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 <u>(2)</u> <u>ア</u>	① 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 <u>B (1) イ</u> ② 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 <u>C (1) ア</u>	① 進んで事柄の順序を考え、学習したことを生かしながら、おもちゃの作り方を説明しようとしている。

6 指導と評価の計画（14時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
第一次			
1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> 単元のめあてをつかみ，学習の見通しをもつ。 自分が説明するおもちゃを探す。 	<ul style="list-style-type: none"> 作ったおもちゃで遊んで楽しかったことを想起させ，「1年生におもちゃの作り方をプレゼンしよう」という学習課題を設定する。 	
第二次			
3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> 教材文「馬のおもちゃの作り方」を読み，作り方の説明の工夫を見つけ，実際に馬のおもちゃを作る。 分かりにくい説明書のモデルと教材文を比較し，分かりやすくする工夫を読み取る。 文章全体の構成を捉える。 分かりやすい説明の工夫を，まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートに教科書の本文を送り，書き込みながら，順序や数を表す言葉，写真と文のつながりなどに着目することができるようにする。 写真の必要性を認識させるために，不十分なモデル文を提示する。 ばらばらの写真とセンテンスカードの並び替えにより，手順を確認する。 ICT（視覚化・共有化） 説明文の構成が「準備・制作・使用」の時系列の順になっていることに気付くようにする。 ICT（視覚化・共有化） 	<p>【知・技①】 〔記述・観察・ロイロノート〕 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思・判・表②】 〔記述・観察・ロイロノート〕 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えている。</p>

第三次

<p>7 . 8 . 9 . 10 . 11 . 12 . 13 . 14 本 時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもちゃの作り方」の説明を書く学習への見直しをもつ。 ・説明するおもちゃを決め、必要な材料や道具を考える。 ・選んだおもちゃの作り方の説明のしかたを考える。 ・選んだおもちゃを説明する文章を書く。 ・書いた文章をもとにおもちゃを作ってみて、文章の見直しをする。 ・同じおもちゃを作った者どうしのグループを作り、完成した説明文を読み合っ感想を伝え合い、学習を振り返る。 ・同じおもちゃを作った者どうしのグループで代表を決め、発表会の準備をし、練習する。 ・全体の発表会を開く。 ・学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をいかすことを意識させ、「がくしゅうのすすめ方」を手がかりに、学習の見直しをもてるようにする。 ・誰に作り方を説明するのか、相手意識を持たせるようにする。 ・「馬のおもちゃの作り方」や「けん玉の作り方」で見つけた説明の工夫を確認するよう促す。 <p>ICT (視覚化・共有化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明の順序に気を付けて書くよう助言する。 ・おもちゃを作りながら、作る順に写真を撮って保存しておくように助言する。 ・ここまで確認してきた説明の工夫と撮りためた写真を使って書いているかを確認する。 <p>ICT (焦点化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順序などの説明の工夫を観点に感想を伝え合い、自分の文章のよいところに気づくことができるようにする。 <p>ICT (視覚化・共有化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人、写真を電子黒板に映す人等に分かれて発表の準備をさせる。 ・他のグループの内容などと比較しながら、発表会を聞くことで、共通点や相違点に着目させ、新たな発見や気づきが生まれるようにする。 <p>ICT (視覚化・共有化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの発表内容の共通点や相違点を観点に書かせることで、本単元のねらいを達成できるようにする。 <p>ICT (共有化)</p>	<p>【思・判・表①】 〔記述・観察・ロイロノート〕 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p> <p>【主体的①】 〔記述・観察・ロイロノート〕 進んで事柄の順序を考え、学習したことを生かしながら、おもちゃの作り方を説明しようとしている。</p>
---	---	--	--

7 本時の指導（14時間目／全14時間）

(1) 目標

「おもちゃの作り方」の発表会を聞いて、分かりやすい説明の工夫を見つけることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）
導入 2分	<p>1 前時の学習想起</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の学習活動を振り返る。 <p>2 本時の課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「おもちゃの作り方」の発表会を聞いて、分かりやすいせつめいの工夫を見つけよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい説明の工夫を見つけることを確認する。
展開 35分	<p>3 課題解決</p> <p>(1) 分かりやすい説明の工夫を交流する</p> <p>(2) 発表会の進め方を確認する。</p> <p>(3) 同じおもちゃのグループごとに発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;">ICT（視覚化・共有化）</div> <p>(4) 分かりやすい説明の工夫について整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループの内容などを比較しながら聞くことで、共通点や相違点に着目させ、新たな発見や気づきが生まれるようにする。 言葉だけでは、分かりにくいところは、写真も使って説明しているところにも気付かせる。 「分かりやすい説明」「工夫」を中心に話し合わせる。
終末 8分	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わたしは、「コトコトのぼり」の作り方が分かりやすいと思いました。材料と作り方が写真と説明でよくわかったので、1年生でも作れそうだなと思いました。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;">ICT（共有化）</div>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りに書くことは、単元全体を振り返り、発表会の内容を聞いて思ったことや新たな発見などを観点に書かせることで、本単元のねらいを達成できるようにする。 <p>◇【主体的①】〔記述・観察・ロイロノート〕 進んで、事柄の順序を考え、学習したことを生かしながら、分かりやすい説明の工夫を見つけようとしている。</p>

(3) 板書及び電子黒板等の計画

ア 板書

<p>⑦ 「おもちゃの作り方」のはつぴようかいを聞いて、わかりやすいせつめいのくふうを見つげよう。</p>	<p>聞き方 ① なんのおもちゃのことかよく聞く。 ② 「いいな」「まねしたいな」と思うところを見つめる。 ③ せつめいのくふうを見つめる。</p>	<p>⑧ 友だちのせつめいを聞いて ・ 今までしらなかった「おもちゃの作り方」がわかった。 ・ 写真があつて、分かりやすい。 ・ せつめいのくふうをまねしたいと思う。</p>
---	--	---

イ 電子黒板

**おもちゃの
作り方 発表会**

